

# 里沼の記憶

作詞：滝沢昌之

1. <sup>おうら</sup> 邑樂の大地めがけ <sup>お</sup> 降り立つ鳥は <sup>はるか</sup> 遠い空から <sup>こもりぬ</sup> 隠沼求め

<sup>たど</sup> 辿り着いた <sup>みずべ</sup> 水辺は <sup>守りの</sup> 里沼 <sup>つつじ</sup> 躑躅の薫る日まで <sup>しるあと</sup> 城跡の風に舞う

朝陽に踊り出す木々の <sup>はあと</sup> 葉音は <sup>こすえ</sup> 静かな 梢にも 宿る愛の歌

溢れる涙も みな 光を浴びて 溶けていった 木漏れ日の <sup>すみか</sup> 住処へ

<sup>はなはす</sup> 花蓮咲く 香りは 甘い記憶 いつか来た道 心通う街に 約束してくれる
2. いにしへの <sup>さんもん</sup> 山門に <sup>ま</sup> 夢跡纏い <sup>うら</sup> 未枯れゆく木立に <sup>とき</sup> 刻まれた時間

<sup>こさつ</sup> 古刹の <sup>あし</sup> 葦の森は <sup>祈りの</sup> 里沼 <sup>ちやがま</sup> 茶釜に語り継がれ <sup>かやぶき</sup> 茅葺の寺 <sup>す</sup> 住まう

大河に照り映えて <sup>まばゆ</sup> 眩い <sup>にしび</sup> 西陽 いつしか <sup>あかねぐも</sup> 茜雲 <sup>やまぎわ</sup> 山際を染める

忘れた笑顔に そっと 許してくれる <sup>りょうもう</sup> 両毛へと <sup>みち</sup> 続く路歩けば

<sup>しだれざくら</sup> 枝垂桜 仰いだ 遠い記憶 春を待ち侘ぶ <sup>つかい</sup> 番の鴨のように 優しく寄り添える
3. 松林が連なる 伝説の沼 遺跡眠る <sup>たたら</sup> 踏鞴の <sup>さてつ</sup> 砂鉄の丘に

水に映る棧橋 実りの里沼 暮らしを <sup>あす</sup> 明日へ <sup>つむ</sup> 紡ぐ 金色の麦畑

<sup>ほの</sup> 灰かに <sup>かすみ</sup> 霞立つ夜空の月と <sup>けなげ</sup> 健気に <sup>ふ</sup> 降り注ぐ星の <sup>またた</sup> 瞬きに

過ぎ行く過去も 今も <sup>ゆ</sup> 往く <sup>あ</sup> 当てのない 悲しみさえ 輝く朝を知る

赤城の尾根 見渡す 恋の記憶 命 <sup>あ</sup> 褪せても 信じあえた岸辺 安らぎわかちあう